委員会レポート

委員会の行政視察報告

議会運営委員会、常任委員会及び特別委員会が、所管事項の調査研究をするため、他の自治体の先進的な取り組みについて行政視察を行いましたので、その内容を報告します。

議会運営委員会

平成27年8月24日～26日
愛知県一宮市、長野県長野市、長野県松本市
「議会運営と議会改革の取り組み」

▲議会運営や議会改革の取り組み状況等について調査しました（一宮市）

今回視察した３市では、主に「一般質問における一問一答方式」、「議会活性化に向けた取り組み状況」、「議場の施設整備・ＩＴの導入」について、より深く勉強してきました。

まず、「一般質問における一問一答方式」については、一括方式との選択制を採用している議会と、一問一答方式のみで運用している議会が見られました。一問一答方式の総括として、論点や争点が明確になり、市民にわかりやすいとの評価があるものの、質問内容が細部にわたり過ぎるとの課題も挙げられていました。

「議会活性化に向けた取り組み状況」については、議会基本条例の制定後、推進組織として部会制を導入している議会や、検証期間を設け、さらなる議会活性化に向けた議論を深めている議会も見られました。

「議場の施設整備・ＩＴの導入」については、旧態依然から最新鋭の議場まで両極端な実態を視察できました。最先端の特徴としては全席へのマイク配置、一般質問時のパソコン利用と大型スクリーン設置、電子投票用ボタン配置などが挙げられます。

今後、他市議会の事例を参考とし、沼津市議会らしさを大切に、市民の皆さんとともに歩む市議会のあり方を検討する中で、さらなる議会改革を推進していきます。

総務経済委員会

平成27年11月13日～15日
三重県津市　「産業振興センターの取り組み等」
大阪府堺市　「堺市自転車のまちづくり推進条例、コミュニティサイクル」
兵庫県伊丹市「公共施設マネジメント計画」

津市では、ものづくり支援、地域資源活用支援、創業支援を市の産業振興センターが担い、各事業団体、金融機関や教育機関と行政を結びつける役割を果たし、企業誘致や起業に大きな実績を上げていました。地域の事業者を産業振興の主役として、行政が力強く支援していく形がとられており、地域の産業育成・支援の取り組みが地域活性化の鍵を握っていると実感しました。

堺市では、人や環境にやさしい社会に向けた取り組みを実施しており、自転車まちづくり部を設置、条例を制定し、つかう（利用促進）、まもる（安全利用）、とめる（駐輪環境）、はしる（通行環境）を４つの柱として自転車の活用を推進しています。自転車のシェアを行う「さかいコミュニティサイクル」では690台を所有し、まちをあげた取り組みとなっていました。

伊丹市では、「公共施設等総合管理計画」を平成27年に定め、市が所有する各施設の状況を詳細に検討し、建てかえや配置状況などの検討を行っています。1970年代に全国で建設された公共施設は、今一斉に建てかえの時期を迎え、その費用をどう負担していくかは、自治体の喫緊の課題であり、本市の参考となるものでした。

▲市内８カ所の専用駐輪場に供用の自転車690台を配置している「さかいコミュニティサイクル」（堺市）